



上天草市立上天草総合病院

## 地域医療連携通信

あこ

上天草総合病院理念  
信頼される地域医療  
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部(直通)  
 電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547  
 住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19  
 電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)  
 URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>  
 Eメール: [kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp](mailto:kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp)  
 発行責任者:地域医療支援部長 細川 貴規



## 新年度のご挨拶

## 病院長 脇田 富雄



桜の便りも届く季節となり、新たな2025年度が始まります。地域の皆様方、医師会の先生方、地域の保健・医療・介護・福祉に携わっておられる皆様方の温かいご支援のおかげで、上天草総合病院は昨年度、開院から60周年という歴史を刻むことが出来ました。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

当院は、上天草地域の中核病院として、この地域の保健・医療・介護の中心的役割を担っており、その役割を持続的に果たすために、地域社会が直面する課題に正面から向き合い、その課題を解決していく必要があります。

上天草地域も、超少子高齢化と人口の都市部への流出という深刻な問題を抱えています。特に、若年女性の流出は出生率の低下に直結し、将来的な地域社会の縮小に拍車をかけています。このような人口減少地域での若年人口の増加対策は容易ではありませんので、視点を変えて、要介護者の減少、特に介護度の高い方の減少に焦点を当て、高齢者の健康寿命延伸と介護予防に積極的に取り組むことは、有効な対策の一つとなるのではないかと思います。

人口構造の変化は、疾病構造も変化させ、医療提供体制の変革が必要です。急性期中心の体制から、回復期、慢性期、そして介護までを一体的に提供する体制の構築が必要です。当院では、既に地域包括ケア病床・病棟を運用していますが、さらに急性期一般病床からの地域包括ケア病床への転換を行い、入院患者さんのADLをできるだけ入院前の状態に戻して退院して

もらうため、入院早期からのリハビリテーション介入を継続・強化し、患者さんの在宅復帰の支援に取り組めます。

高齢化の進展は複数疾患を持つ患者さんを増加させているため、地域医療における総合診療医のニーズが高まっていますが、地方病院での医師確保は非常に困難を極めています。医師だけでなく、医療従事者の確保とともに医師や看護師等の育成は大切だと考えます。そのためにも、働き方改革の中で若手医師が安心して働ける環境づくりとして、AIや遠隔医療などの医療DXを導入し、医療の質の保持・向上を図ることも、医療従事者の確保には必要なことではないかと考えます。

地域連携の充実のため、くまもとメディカルネットの利用促進・拡充を行い、在宅医療サポートセンターとして在宅医療等の充実を図る必要があります。そのためには、医師を含めた医療従事者(看護師、看護助手、薬剤師その他)がタッグを組んで取り組むことが必要です。住民の皆さんが住み慣れた上天草地域で安心して暮らしてもらったためにも、医療・介護連携をスムーズに進めるための情報通信技術の活用は大切なことだと考えます。

当院の理念である「信頼される地域医療」を実現し、「地域医療拠点病院」としての役割を全うするために、地域連携体制の強化に引き続き取り組んで、地域住民の皆様が安心して医療を受けていただけるよう、職員一同、尽力していく所存です。令和7年度も、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 「くまモン」改め「かたりモン」。かたって一年。

事務長 山川 康興

令和6年4月1日、上天草市役所から人事異動で当院にかたって（加わって）一年が過ぎようとしています。相変わらず慣れない専門用語に戸惑いは多いものの、安定した医療の提供に「待った！」はありません。四苦八苦しな毎日のですが、どうにか一年、務めることができたのは病院スタッフをはじめとする関係機関の皆様のおかげと感謝しております。

私の業務では、目まぐるしく変化する病院全体の動きを迅速かつ正確に把握することがとても重要となります。毎日、提出される多くのデータや報告書に目を通していると、改めて病院は24時間365日休まない職場であることを実感します。一方でそんな日々を過ごしていると、今まで全く見えなかった絵面が見えるようになってきました。病院の「舞台」と「舞台裏」もその一つです。今日は、この一年を総括し、多くの人に伝えたいと思った舞台の裏側についてご紹介します。

病院業務を一つの演目として想像してみてください。建物が劇場の舞台だとすると、主役は紛れもなく「医師」、「看護師」、「技師」など、いわゆる医療スタッフです。もちろん、主役が舞台の真ん中で光り輝いてこそ、当院がその役割を果たすことができることは言うまでもありません。皆様ご存じの通り医療スタッフは、24時間、命と向き合い、適時的確な医療を提供すべく常に緊張した日々を過ごしています。そんな病院という劇場に「かたりモン」が飛び込み、毎日を過ごしていると… 主役を輝かせるために舞台の袖や奈落



栄養科スタッフ

では想像をはるかに超える多くの仲間がコツコツと仕事に励んでいる姿が見えてきたのです。

患者様においしい食事を届け

ようと、心を込めて調理に励む栄養科スタッフ。汗だくになりながら、気持ちよさそうな患



リネンスタッフ

者様の顔を励みに入浴を介助する看護助手。リネンスタッフも乾燥機の暑さに負けず、清潔なリネン類を届けるため毎日奮闘しています。廊下、病室、階段等、隅々までの清潔感を追求するワーカーの想いにも頭が下がります。医療体制に支障を来たさぬように設備の不具合や機器の故障などに迅速に対応しようと走り回る施設管理スタッフは頼りになるなんでも屋です。



ワーカー

このように、舞台裏では多くの仲間の力を結集させ、病院という大きな舞台を支えているのです。そして今日

もたくさんの仲間が地域医療の核としての役割を果たすため、休むことなく前に向かって進み続けています。

「かたりモン」は4月で、いよいよ2年目を迎えます。これからも、多くの仲間



施設管理スタッフ

に助けられながら、一刻も早く「ほんなモン」へ脱皮し、病院運営に貢献できるよう成長したいと思っています。そして、引き続きスタッフ一丸となって、皆様に安心して頼っていただけるような病院づくりを目指します。

# 消防署との合同勉強会

## 救急医療委員会

令和7年3月13日に消防署との合同勉強会がありました。今までは年に1回救急の日に合同勉強会を行っていましたが、今年度は6月、9月、12月と今回の4回実施されました。



1回目の6月には救急隊が患者さんより要請を受け、接触しからの実際の流れを救急隊が実施されまし

た。2回目の9月には救急隊の症例報告がありました。3回目の12月には救急救命士の特定行為である静脈路確保である点滴の実際の流れ、その後に当院看護師と練習機材を使った静脈確保の練習を行いました。またそれぞれの勉強会で救急隊が実際に遭遇した症例で疑問に思うことを、当院の医師に質問をされ、助言を求めることもありました。

4回目の今回は、PEMEC（症候別救急疾患病院前救護）の紹介がありました。PEMECとは疾病

（内因性疾患）傷病者に対する病院前救護活動の標準化を目指したものです。実際に救急隊がPEMECのアルゴリズムに則り、ロード&ゴーを評価するなどの演習を披露されました。



今回は例年とは違い4回もの合同勉強会があり、救急隊と実際に顔をあわせた交流を持つことができました。救急患者を受け入れている当院としても、救急隊との良好な関係を築くための有意義な時間になったかと思います。



### 研修会・勉強会の行事予定表

4月9日(水)	糖尿病教室 開催は中止します	14:00～ 当院6階講堂
4月17日(木)	がんサロン	13:30～ 当院6階講堂
4月25日(金)	心臓リハビリテーション教室 心臓リハビリテーション総論	14:30～ 当院6階講堂

### 編集後記

〇日に日に、日照時間も長くなり、朝の気温も柔らかくなる新年度となりました。巻頭は、脇田院長の「新年度のご挨拶」を掲載させて頂きました。救急医療委員会からは、実開催が定例となった勉強会について報告させて頂きました。また、山川事務長からは、栄養科や看護助手、リネンスタッフ、施設管理課について紹介させて頂きました。自称「かたりモン」の事務長さんは、皆の話をよく聞いてくれ、語ってくれる「語りモン」です。

新年度となりました、地域医療支援部とも、よろしくお願ひします。（細川）

# 4月 診療案内

※は、応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
<b>内科</b>	和田 正文 小林 博 井上 大暉	和田 正文 井上 大暉 阿久根 章矢	※岸川 秀樹 ※中村 太造	和田 正文 細川 貴規 小林 博 ※高柳 宏史	細川 貴規 阿久根 章矢 井上 大暉 (第2・4・5) ※福嶋 一晃 (第1・3)	
<b>代謝内科</b>	※阪口 雅司	—	—	—	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
<b>腎臓内科</b>	—	—	細川 貴規	—	—	
<b>循環器内科</b>	※東海 達也	脇田 富雄	小林 博	※山本 正啓	脇田 富雄	4/15(火)
<b>外科</b>	—	—	—	—	—	
<b>小児科</b>	船曳 哲典	※檜村 哲生	船曳 哲典	※田村 博	船曳 哲典	4/7(月)
<b>婦人科(午前/午後)</b>	坂口 優子/ オンライン診療	休診/ オンライン診療	坂口 優子/ 休診	—	—	
※外来診療時間は9時から13時30分となります。(受付時間は8時30分～13時まで) ※オンライン診療は、再診の方のみ予約診療となります。						
<b>整形外科</b>	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一	藤松 晃一	※鮎田 貴也	4/24(木) 4/28(月)
※毎週火曜日・金曜日の診療開始は10時50分からとなります。						
<b>耳鼻咽喉科</b>	—	※熊大	—	※熊大	※熊大	
<b>眼科</b>	吉岡 幸英	竹下 哲二 吉岡 幸英	竹下 哲二 吉岡 幸英	竹下 哲二 吉岡 幸英	竹下 哲二	4/18(金)
<b>皮膚科</b>	—	—	—	※宮下 梓	—	4/3(木)
<b>泌尿器科</b>	—	西 一彦	—	—	西 一彦	4/18(金)
※毎週金曜日の診療は完全予約制となります。						
<b>超音波・ 内視鏡センター</b>	※石山 哲	※石山 哲	※大塚 郁弥 (8月まで)	※蔵野 宗太郎	※大野 健翔	
<b>歯科・口腔外科</b>	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	4/9(水)
※午後は、13時～16時30分までの受付です。						
<b>教良木診療所 (午後)</b>	小林 博	—	応援	応援	井上 大暉	
<b>御所浦診療所 (午前)</b>	竹下 哲二	—	—	—	—	
<b>栖本病院 (午前)</b>	—	—	阿久根 章矢	—	—	

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。